

マネジメントコース研修生のつぶやき

編集者注：このコンテンツは、マネジメントコース（※）の研修生が持ち回りで担当し、それぞれの所感等を述べたものです。

※ 地方自治体職員が、自治大学校の実務や、研修（第1部課程等）の履修によって、実践的に高度の政策形成能力及び行政管理能力の向上を図るもの。

マネジメントコース生として着任してから、早いもので半年が経とうとしています。日々の業務に追われながらも充実した毎日を過ごしており、1年もあっという間に終わってしまいそうです。

今回は、自治大学校がある立川市の若手職員である私から、これから参加される皆さんの不安を少しでも和らげることができるよう、若手職員としてマネジメントコースに参加して感じたことや、立川市についてお伝えしたいと思います。

○マネジメントコース生として参加して感じたこと

入庁以来、市民対応を中心とした窓口職場で勤務してきたため、日程調整や研修生対応といった運營業務は初めての経験でした。最初は不安もありましたが、困ったときには総務省採用職員や非常勤職員などの自治大学校職員に相談できるほか、全国から集まった経験豊富なマネジメントコース生から多くの学びを得ながら、安心して働くことができます。私が所属する教務部の業務は、担当する課程によって演習や講義内容は多少異なりますが、共通する部分も多く、繁忙期にはお互いに助け合いながら仕事を進めています。

また、自治大学校には食堂があり、昼食時にはマネジメントコース生や総務省採用職員と一緒に食事をしています。派遣元自治体にいるだけではなかなか接する機会のない、校長をはじめとする総務省採用職員の方々と同じテーブルを囲み、気軽に食事ができるのは、マネジメントコースならではの特権かもしれません。こうした日常的な交流を通じて、さまざまな経験談を聞くことができ、自らの視野を広げる貴重な機会となっています。

○立川市について

研修生から「立川は初めて来たけれど、本当にいいところだね」と言われることが多く、立川市職員として、とてもうれしく感じています。駅前には商業施設が充実しており、自治大学校の近くには大型ショッピングセンターもあるため、日用品の買い物に困ることはありません。さらに、飲食店も豊富で、その日の気分に合わせてお店を選べるのも魅力です。「どんなお店に行けばいいのだろう」と迷ったときには、立川市と商店街連合会が選定した「たちかわの輝く個店」や、派遣経験のある職員が有志で作成した「立川飲み処・食い処一覧」が参考になります。

また、毎年7月に開催される国営昭和記念公園の花火大会を自治大学校の敷地内から楽しむことができます。帰宅時間を気にする必要もなく、人混みを避けながら絶好のロケーションで花火を眺められるのは、思い出に残る体験でした。



○おわりに

最後になりますが、この場をお借りして講師の先生方、研修生の皆さま、自治大学校職員の皆さま、マネジメントコース生の皆さん、そして派遣元自治体の皆さまに心より感謝申し上げます。自治大学校での経験は、業務面だけでなく人とのつながりという面でも、私にとって大きな財産となっています。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

